

福岡便教会だより

第十一号平成二十四年十二月十日発行

第十一回 福岡便教会・研修会の概要

十一月十日（土）午前八時三十分～十二時、福岡市立飯原小学校（福岡市城南区）において、「感動・感謝」をテーマに第十一回定例研修会を開催しました。

参加者は、教育関係者四十名、小・中学生二十一名（飯原小七名、原中十四名）、保護者と一般参加二十九名、合計九十名でした。

年三回行っている定例研修会の会場校は、教師の参加の機会を特定の地域に偏らないように福岡市七区均等にするにと、

小中学校のバランスを考えて決定しています。

このことを理解いただいた飯原小学校の荒瀬尚三校長先生が、近隣の学校に声をかけていただき、原中学校の生徒が大勢参加しました。お蔭で活気溢れる研修会となりました。



研修会のテーマ 「感動・感謝」

掃除哲学には①感動・感謝、②気づき、③工夫、④謙虚、⑤行動の五徳があります。このうち、①・②・③・④の研修を繰り返していく中で、⑤謙虚な教師になることが本会の目的と考えています。

今回のテーマは「感動・感謝」としました。トイレ掃除を通して感動・感謝する感性を磨き、教育活動に活かして欲しいと考えました。

感動感謝について、鍵山秀三郎先生の教えを紹介します。



鳥の子たわしで床磨き
シャシャシャの音響く

感動こそ人生

感動のない人生は生きている意味がありません。生きるということは、感動することです。私は人を感動させるような生き方をするためには、自分が感動しやすい人間になることが第一だと思います。私は毎朝四十分間、全身を使い、素手で床・壁・便器を洗います。こうして徹底したトイレ掃除を続けていますと、自分も周囲の人も自然に感動を共有することができるようになります。「徹底」と「継続」がその大きな要因だと思っています。

「徹底」とは、持てる力を出し切り、手抜きをしないということ。力を出し惜しみしている人に感動する人はいません。同じトイレ掃除でも、「徹底」するからこそ感動が得られます。

「継続」とは、平凡なトイレ掃除でも、「継続」していると平凡の中から生まれる非凡というものに必ず出会います。この非凡には大きな力が秘められており、人を心底感動させる力があります。

感謝するから幸せになれる

人は幸せだから感謝するのではなく、感謝するから幸せになれる。その点、トイレ掃除をしていると小さなことにも感謝できる豊かな感性が研ぎ澄まされてきます。いつも不平不満ばかりを持つているような人は、絶対に幸せになることは無いということです。あるがままに受け入れることが、幸せになるための大前提であるということです。

その上で、ないものねだりをせず「あるもの活かし」をする。できない理由を考えるよりも、今自分にできることをひとつでも多く考えてみる。こういう生き方を心がけていますと、小さなことにも感謝できる豊かな感性が芽生えるようになります。

小さなことに感謝できる人は、自分の苦しみや悩みを小さく受け止めることができるようになります。その分、幸せになれるわけです。

「鍵山秀三郎語録」寺田一清・編 致知出版より

実践発表

「トイレ掃除を学校に
定着させるには」

福岡市立笹丘小学校

教諭 春田葉子



わかりやすく、いねいに
プロセクターを使って発表

本校でトイレ掃除を直ちに取組めない理由が三点あった。

① トイレ掃除について職員への理解が不十分である。

② リーダーとなる職員・子どもがいない。

③ このやれない理由を克服し、三学期の「立つ鳥運動」を行うことを目標にして次の行動をとった。

① トイレ掃除について職員への理解を広げる。

まず六年の担任を便教会に誘い、トイレ掃除の意義と効果について理解してもらったことにした。ここで子どもたちの変容を目の当たりにして、職員は効果をより一層実感できたようである。

② リーダーとなる職員・子どもを育てたい。

六年の担任に限らず、初任者や知り合いなどを便教会に誘って参加してもらった。また、二年目の夏に便教会の世話人に協力いただき、職員作業の中で掃除を行った。百聞は一見にしかず。職員の理解者が増えていき、本校にもリーダーになれる職員が育ってきた。現在、トイレ掃除担当の六年生に、サンドメッシュ、カネヨン、たわし、スポンジを使った掃除方法を指導している。こうして経験を重ねることにより、六年生がリーダーとなり、卒業前に五年生に掃除の仕方を引き継ぐようにしている。

③ 掃除道具を揃えたい。

現在、立つ鳥運動は便教会に掃除道具を借りているので、まず必要最低限の道具を購入したい。さて、本年二月に行った立つ鳥運動（土曜の授業参

観の時に実施)では、便教会から道具を借り、世話人から指導も頂いた。事前指導として、①立つ鳥運動の意味、②掃除の流れ、③道具を揃える意味、④私自身が便教会の掃除で体感した達成感などを伝えた。こうして子どもたちは興味と心構えを持った。当日は小雪の降る厳しい寒さだったので、お湯を入れたバケツまで準備した。子どもたちは、頑張るとどどん落ちていく汚れと世話人に褒めてもらいう喜びから、黙々と掃除に取り組んでいた。

感想文に「もつと続けたかった」「トイレ掃除がこんなに楽しいと思わなかった」と十分達成感を味わえたことが分かった。その後、子どもたちの掃除に対する関心が高いうちに、新たに買った掃除道具で毎日の清掃活動を行っている。

○ 今後の取り組み

来年度の六年生にも立つ鳥運動が実施できるよう、職員仲間に掃除のノウハウを引き継いでいきたい。さらに、PTAや地域の方と一緒に学校美化活動へと広げていきたいと思っている。

便教会の掃除を学校に定着させるには、何よりも職員の協力が不可欠である。小さな渦でも、続けられればきつと大きな渦になることを信じ、鍵山先生の言われる「一人の百歩より、百人の一步」を目指して取り組んでいきたい。

感想文の紹介

☆は中学生

◎は保護者と一般参加者

○は教師

一 トイレ掃除を終えた

今の気持ちは？

- ☆ はじめてで、とてもたのしかったです。(小1)
- ☆ 便器は最初きれいと思っただけ、すみずみまでよく



子どもの姿にお母さんもビックリ...すいね!

見るとゴミがいっぱいあって、見た目とは違うことがわかりました。(小5)

☆ トイレがきれいになっていくのが嬉しくて、家では絶対使わないような道具を使ったら、多分やる気が出たんだと思います。便器の中をきれいにしていくと汚れの臭いが出てきてくさかったけど気にせずに取り組むことができました。(中2)

☆ トイレには見えない所にも汚れがたくさんあって、そこをきれいにしていくとうれしくなりました。最後に気持ち清々になりました。(中2)

☆ 掃除の仕方を教えてもらったので、その通りにやったら、どんだんきれいになっていったので心もきれいになった気分です。(中2)

◎ 元々きれいなトイレでしたので、戸惑ってスタートしました。「キレイをものすごくきれいにする」を目標にしてやり切れたと思います。

◎ 当初は、こんなこと簡単だと思って始めたけど奥が深く、やりだすともっともつという気持ちが起こり、終わったときの達成感はずこかった。

◎ チームで一つのことに取り組む素晴らしさを実感しました。特に一緒に掃除をした小中学生のみなさんの素直な姿勢には心を打たれました。すごく晴れやかな気持ちで、掃除を終えたこととチームのメンバーに感謝しています。

◎ 掃除をしながら無心になりました。これだけ集中して眼の前の事に向き合う機会はありません。一ヶ所拭き上げるとまた小さな汚れが目につくようになり「気づきが大事」と教えていただいた意味が実感できました。

◎ 最初は抵抗がありましたが、最後は残した汚れがとても気になり、最後まできれいにできずくやしかったです。

◎ 皆さんと一緒に掃除ができたことに感謝します。年に一〜二回は地域でこのような掃除が実践できたらいいなと思いました。(自治会長)

○ 参加回数は増えていますが、サブリーダーを任されるリーダーの説明に熱心に聞き入るから離れた感じがさびしいです。しかし、手順よく進められるのは、サポートする裏方がいるからだと気づきました。自分に任された役割に徹する重要さを感じました。



○ サブリーダーとして参加しました。便器と向き合うことなく、周囲の掃除をしました。職員の方が磨く便器がきれいになっていく様子を見ながらうらやましい気持ちがありました。しかし、皆さんのパツと輝く笑顔を見て、自分も晴れやかな気持ちになりました。

○ 毎日子どもたちと掃除をしているつもりでした。この研修会に参加させていただき、見えていないことの多さに気づくことが出来ました。本日の気づき、感動を子どもたちに還元したいと思います。

○ 普段一時間以上掃除をすることはなく、貴重な体験をさせていただきました。終了後のトイレは気持ちよくすっきりした気分になりました。集中すると私語もなくなり、常に手を動かし活動できると実感しました。

○ スッキリしたというのが率直な気持ちです。便器を磨くというより自分を磨く気持ちが強く、心が洗われたような気持ちです。

○ トイレが輝くくらいピカピカになって、とっても嬉しく思いました。はじめは便器と顔の距離が遠かったのですが、知らず知らずのうちに顔が便器につくくらい近づいているのに驚きました。

二、どんな「感動・感謝」を学びましたか？

☆ いつもきれいにしてくれるお母さんに感謝し、自分の手できれいにしたので感動しました。(小5)

☆物をプレゼントしたりほめ言葉をいったりするほかに、感謝の気持ちを掃除であらわすことも出来ることを学びました。トイレ掃除はみんないやがつて適当にするけど、ていねいにピカピカにすることに感動しました。(中2)

☆ 今日まで感動・感謝を感じたことはあまりありませんでした。でも、今日の体験でたくさん感動・感謝を感じました。それは、いろんな人からアドバイスを頂いたからです。そのおかげで私の担当した便器がすごくきれいになりました。みんなに感謝しています。(中1)

☆ 最初からきれいだったト

イレがもつときれいになったので、感動・感謝の意味が分かりました。長時間みんなで頑張つて掃除したのは初めてです。最初は「嫌だなー」とか「早く終わらないかなー」とか思っていたけど、きれいになっていくうちに「もつときれいにしよう」とか「きれいに使

「って欲しい」とかトイレ掃除に対する考え方が変わっていったよいい経験になりました。(中1)

☆ 今日の掃除で、トイレはきれいに使おうと改めて感じました。毎日使っているトイレを見て「ちゃんと掃除してよ」と思っていたけど、そんな自分が馬鹿でした。もっとトイレのありがたさを感じて使います。(中2)

◎ リーダー、サブリーダーさんのキリツとした中にも思いやりを込めて、班員の方を一所懸命に褒めて



おられる姿に感動しました。また、初参加の方が次回も参加したいとの発表に感動しました。

◎ 知らない人と掃除を通して触れ合い、楽しく掃除できたこと、この会に参加できたこと、この会を知らせてくれた方々に感謝です。掃除後のきれいなトイレと皆さんの輝く笑顔に感動でした。

◎ 水、洗剤、電気など全ての物にありがたうという感謝の気持ちを忘れていたことに気づかせてもらいました。浪費や乱雑な生活を反省しました。

◎ 集団作業の楽しさに感動し、身体を動かしたお蔭で健康のバロメーターが分かったことに感謝しています。(自治会長)

◎ 自分の息子たちが初めは嫌がつていたが、いろんな道具を用いてきれいにしていくな姿を見て、とつても感動した。あと十五分という短い時間がすごく貴重に感じられた。

○ 毎日使っているトイレは、皆が使う公共施設です。今日の掃除で「他の人を思いやる気持ち」を持つことが大切だと思いました。また、自分が使うときは、次の人が気持ちよく使えるようにきれいに使い、トイレットペーパーの三角折りもきちんとしていきたい。

○ リーダーが、体育館に並んだ班の人たちと握手をして挨拶をされている姿に感動すると同時に大きな学びを頂きました。私たちが動きやすいように目配り気配りが素晴らしかったです。

○ 初めてサブリーダーをしました。時間の配分や節電、節水に注意して、掃除をする中でいろんな工夫があることが分かりました。班の皆さんが協力してくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです

○ 普段気づかない所の掃除方法やポイントを教え
ていただきました。また、一緒に掃除をした方々や
一所懸命に協力してくださった方に感動と感謝の
気持ちでいっぱいです。

○ 日頃何気なく使っているトイレに「感謝」という

言葉は、今日の体験をするまで心から思ったことはありませんでした。今日の活動を通してトイレが気持ちよく使えるありがたさや物を使えるありがたさを身に沁みて感じました。やり終えたとき「感動」が心から溢れ、美しくなる喜びがこんなに気持ちよいものだと感じて感謝しています。

○ 根気強く磨くときれいになっていく便器を見て感動し、日頃様々な場所をきれいに掃除してくださっている人に対して感謝の気持ちを持つことができました。

○ 自分より小さな体で、一所懸命に掃除している子ども達の姿が素晴らしいと感じました。また、終わった後の充実した気持ち、そして一緒に取り組んだ皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。

三 この体験を生活や

職場でぶいこのように

活かしますか？

☆ 掃除をすると感動や感謝できる人になることを一緒に掃除を楽しくできるようにするといっていました。(中2)

☆ 学校の掃除時間は短いけど、短い中でもきれいにできるように頑張ろうと思いました。(中2)

☆ 最初は汚れていたトイレを一時間半かけてきれいにしたので、飯原小の児童にもいい気持ちを感じて欲しい。部活動で使う体育館のトイレを今日学んだ感謝の気持ちを込めて掃除します。(中1)

☆ 部活動の時にトイレ掃除をしていますが、適当に如



何にサボっていたかわかりました。これからはいつも使わせていただくトイレに感謝して、今日の体験を生かしたいです。(中1)

☆ 学校で毎朝掃除があります。トイレではなく階段掃除ですが、今日学んだことを活かすことができると思います。月曜日から友達と徹底して学校をきれいにしていきたいと思います。(中3)

☆ 今日学んだことを学校の生活でいかしていきたいです。また、この掃除を次回もやりたいです。(小5)

☆ せっかくなのできれいにしたら、きれいにたたくつかおうと思いました。(小3)

◎ 率先して物事にあたり、全力を尽くして最後までやり通す人になりたい。人が嫌ってやらないことにも自分から手を出していきたい。

◎ 今回の掃除のように一つの目標に対して努力していく姿勢はとても大事だと思いました。周りの方に対していつも感謝の気持ちを忘れないよう心掛けていきたいです。

◎ 家のトイレ掃除を見直したいと思いました。子どもにもっとトイレ掃除を経験させたいです。

◎ 今日の掃除できれいになったトイレをいつまでも美しい状態にできるような清掃活動を全校で行っていききたいです。また、清掃の大切さ、学びの深さを全校の児童に伝えていきます。本日はありがとうございました。(会場校 荒瀬校長)

◎ 清掃指導のときに、子どもに口先で教えるのではなく、やって見せながら一緒にきれいな学校づくりをしたいと思いました。指導いただいたリーダーのように分かりやすく、褒めながら掃除することも大切だと思いました。

◎ 自分で何事も実践する。トイレ掃除以外でも自分できれいにする。自分の心をきれいにしていきます。そして、続けていきます。

◎ 帰宅したら家のトイレを見直し、平日頃から便器を磨いて心を磨きたいと思いました。便教会で得た

感動を児童はもちろん、参加できなかった同僚にも伝え、次回にはぜひ参加するよう勧めていきたいと思っています。

教師も 生徒も 子も 孫も…みんな 笑顔いっぱい♡
掃除後の姿は みんな感動・感謝に溢れています。



◎ トイレに限らず、掃除を進んでやることのよさを子どもたちに伝えたい。やらされていることと自分から進んでやることは違うし、その結果、得られるものも違うからである。

◎ まずは自身で便器磨きを続けたいと思います。

また、子ども達と今日味わった感動、感謝を共有するために学級で便教会を行いたいと思います。

◎ 職員研修を利用して、まずは職員に広めていこうと思います。そして子ども達に、さらに子どもを通

して親に啓発していきたいと思います。大人に対しても子どもへの指導と同様にきめ細かい対応を心がけたいと思います。

編集後記

近年、学校教育では教師の指導力不足が憂慮されています。子どもに上から目線で、口先だけで指導している教師に、子どもは親しみも尊敬の念も持てず、ついていけなくなっています。指導力は、書籍を読んだり講演を聞いたりしただけで簡単につくものではありません。手前味噌ですが、指導力を上げるには便教会のトイレ掃除が一番だと思っています。

汚く、臭い便器に顔が触れるほど近づき、膝を着いて一所懸命磨く行為は、まさに下坐行です。およそ二時間の掃除を通して、自分を変えることができます。今回の研修会でも掃除後の皆さんの表情が、ガラッと変わりました。嫌だなという気持ちで感動感謝に変わったという感想がたくさんありました。

また、感想文には「子どもと一緒に掃除していると、頑張っている子どもの姿に感動し、教師も負けるくらいすごい力があることに気づいた」と感じています。子どもも大人の謙虚な姿に尊敬の気持ちを持ちます。

リーダーとしての心構えを言い当てる名言「やってみせ、言っただけでやらせてみて、褒めてやらねば人は動かじ」があります。教師の指導力は何をさておいても実践なくして向上はないと思います。

発行責任者 十時宏徳

粕屋郡篠栗町大字篠栗四六五五十一
電話・FAX 092・947・1108

次回福岡便教会開催のお知らせ

皆様のお蔭で本年度も充実した研修会が実施できました。来年度も六月、八月、十一月の三回を予定しています。日程と会場等の詳細は五月に連絡します。

皆様の参加をお待ちしています。
書いているのに驚きました。